

# 第1学年 国語科学習指導案

相模原市立九沢小学校  
指導者 小柳 和也

- 1 日 時 平成29年11月21日(火) 5校時 13:55~14:40
- 2 場 所 第1学年1組教室 (B棟校舎1階)
- 3 学年・学級 第1学年1組 30名
- 4 単 元 名 「遠足で楽しかったことや嬉しかったことを伝えよう」  
NHK for School ことばドリル「うれしくて たのしくて」
- 5 単元について

## (1) 国語科の目標

相手に応じ、身近なことなどについて、事柄の順序を考えながら話す能力、大事なことを落とさないように聞く能力、話題に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、進んで話したり聞いたりしようとする態度を育てる。

## (2) 単元目標

遠足で嬉しかったことや楽しかったことをより詳しく伝えることができる。

## (3) 教材観

### ①学習指導要領の記述

「話すこと・聞くこと」

- ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。
- イ 相手に応じて、話す事柄を順序立て、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。
- ウ 姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意して、はっきりした発音で話すこと。
- エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。
- オ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。

### ②教材(番組)について

番組「ことばドリル」は、言語ルールをテーマに、子どもに身近な場面を通して、「初歩の読み・書き」の力を身につけることができる番組である。番組では毎回、「読み・書き」を失敗する場面を見せ、子どもの身近にある言語ルールに気づかせるねらいがある。本単元で視聴する「うれしくて たのしくて」は、嬉しい気持ちを伝える場面と楽しい気持ちを伝える2つの場面に分けられる。それぞれの気持ちを伝える時に「嬉しかった」「楽しかった」の一言で終わってしまい、相手に気持ちが詳しく伝わらない内容となっている。そこで、番組やドリルを通して、どのような言葉が必要なのか考えるようになっている。番組やドリル学習を通して、楽しみながら言語ルールを学習することができる。

## (4) 児童観

4月当初は、友だちの前で話すことに抵抗があり、スピーチでは言葉が出なかったり、下を向いてしまったりする児童が多く見られた。時には涙を流す児童もいた。そこで、全体ではなくペアでの伝え合いから始め、「できた」という話すことへの自信をつけるようにしてきた。5月頃になると全員が全体でのスピーチができるようになり、授業での発言も多くの児童が自信をもってするようになった。

「話すこと」の指導では、顔を上げて聞き手を見ながら話すこと、5W1Hなどの大事なことを落とさないよう話すことを指導してきた。これらができた時には、全体で認め、みんなで高め合ってきた。ペアトーク

やスピーチを積み重ねることで、わかりやすい内容となってきた。一方で、感想や気持ちを伝える場面では、「よかったです。」「楽しかった。」「嬉しかった。」と一言で終わってしまう児童が多く見られる。「何が」や「具体的にどう思ったのか」など感想や気持ちを伝えるための語彙力が乏しい。本単元では、番組「ことばドリル」を視聴し、楽しみながら児童の語彙力を高めていきたい。

### (5) 指導観

スピーチのテーマをクラスの誰もが経験した「遠足」にすることにより、考えることが難しい児童や話すことが苦手な児童でも前向きに取り組めるよう設定した。

本単元では、まずスピーチ原稿づくりを行う。5W1Hに気をつけることや、遠足に行って嬉しかったこと、楽しかったことなど自分の気持ちを入れるようにする。スピーチ原稿を書き終えた後に、番組「ことばドリル」を視聴し、さらにドリル学習の活動を行う。活動を通して、気持ちをより詳しく伝えるためには、どのような言葉が必要なかを考えていくことができる。単元後半では、始めに書いた原稿を見直し、気持ちをより詳しく伝えるために、言葉を変更したり付け加えたりする。書くことに時間が必要な児童もいるため、書き直すのではなく、その箇所に付箋を貼っていく。本単元の活動を通して、自分の気持ちをより詳しく伝えていくことのできる児童を育てていきたい。

## 6 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
スピーチ原稿をより詳しく書こうとしている。	嬉しい気持ちや楽しい気持ちをより詳しく話している。			

## 7 単元の指導計画・評価計画 (4時間扱い、本時は3/4)

時	○目標	・学習活動	評価の観点				
			関	話	書	読	知
1	○遠足で楽しかったことや嬉しかったことのスピーチ原稿を書こう。	・ワークシートに遠足で楽しかったことや嬉しかったことのスピーチ原稿を書く。	○	○			
2	○嬉しい気持ちをより詳しく伝えるための言葉を考えよう。	・NHK for School「うれしくて たのしくて」を視聴して、嬉しい気持ちを伝えるために必要な言葉を考える。		○			
3 本時	○楽しい気持ちをより詳しく伝えるための言葉を考えよう。	・NHK for School「うれしくて たのしくて」を視聴して、楽しい気持ちを伝えるために必要な言葉を考える。 ・スピーチ原稿を見直す。		○			
4	○スピーチ発表をしよう。	・スピーチ発表をする。	○	○			

## 8 本時の授業計画

### (1) 本時の目標

楽しい気持ちをより詳しく伝えることができる。

### (2) 本時の観点別評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
	楽しい気持ちをより詳しく伝える言葉を考え、改善している。			

### (3) 本時の流れ

	学習活動と内容	○指導上の留意点	【評価の観点】 〈評価場面や方法〉
導入 (5分)	・前時の振り返りをする。	・嬉しかったことを伝えるために必要な言葉を確認するようにする。(掲示物の活用) ・遠足で嬉しかったことのスピーチ原稿を用意する。	
展開 (35分)	<div style="border: 2px solid black; background-color: yellow; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;">                     楽しい気持ちをくわしく伝える言葉を考えよう！！                 </div> ○NHK for School「うれしくてたのしくて」を視聴する。 ※scene 7～scene 10まで ・楽しい気持ちをより詳しく伝える時に必要な言葉を確認する。 ※ワークシート ・他にどのような言葉があるかを考え、発表する。 ※どれくらい、まるで～のようだ等。  ○スピーチ原稿を見直す。 ・個で考える。 ※付け加えや変更したい箇所に付箋を貼る。  ○スピーチ原稿をもとにペアの友だちに伝える。	・模造紙にまとめていく。  ・付箋を用意し、付け加えや変更したい言葉を書き、原稿に貼るようにする。  ・どの箇所を付け加えや変更したのかを伝えるようにする。	【話】楽しい気持ちをより詳しく伝えることができる。(ペアワーク)
まとめ (5分)	○学習の振り返りをする。		

### (4) 参観の視点

- ・番組を活用することで、意欲的に活動することができていたか。
- ・番組を活用することが、語彙を増やすきっかけとなっていたか。